

◆2024年第1回定例会開催予定

2月11日～3月22日

詳しくは「立川市議会 HP」をご覧ください。

【環境建設委員会】
PFAS 汚染について

WHO の専門機関が 12 月 1 日、PFOA を「発がん性物質」と認定。PFOS についても「発がん性物質の可能性がある」と認定。市としては市が所有し、かつ揚水している井戸 9 箇所の水質調査はやることになっていますが、揚水していない立川市の井戸が 9 箇所あるとの答弁があり、そこでも検査をするべきだと要望しました。

不登校の子ども達に
多様な学びの場の保障を！

2016 年には「教育機会確保法」が成立し不登校児童生徒が安心して教育を受けられるよう学校の環境整備など多様な学びの場の保障が約束されましたが、不登校の児童生徒は全国で過去最多に。立川でも年々増加していますが、そうした子ども達に対する支援体制は十分ではありません。貴重な学びの場である教育支援センターについても、必要な人員配置や予算配分がなされていません。教育長から「利用する児童生徒の状況を踏まえ環境面も整備していく必要があると考える」との答弁がありました。スクールソーシャルワーカーと保護者や児童生徒が直接相談できる仕組みも必要だと要望しました。

巨大物流センター建設による
通学路など地域交通や
生物多様性への影響！

昭島市のゴルフ場やホテルの跡地に物流センターが建設予定です。近隣の代官山緑地にはオオタカが生息する自然豊かな場所があり、地球温暖化の観点からも全世界的な取り組みと逆行するものです。交通量の予測は、一日に 11,600 台、その内 2,200 台は大型トラックです。立川市は、西砂小学校が隣接する宮沢中央通りを主要走行ルートにしないよう求めています。しかし事業者との協議ができていないことや交通量調査などの対応が不十分です。昭島市とも連携し、市民の安全を守ることを求めました。

実現します

障がい者
日常生活用具の
給付額引き上げを！

▲ストーマ用装具

様々な病気や事故などにより、人工肛門・人工膀胱を造設した人を『オストメイト』といいます。オストメイトはストーマ用装具（写真）を装着することによって、手術前と同じような生活を送ることが出来ます。

国や自治体からの給付額が 30 年以上も据え置きになっていることや物価上昇などの理由から給付金引き上げの要望を受け質問し「2024 年度予算編成の中で前向きに検討したい」との答弁がありました。